

科目名		建築法規Ⅰ				
担当教員		大滝 里奈		実務授業の有無	○	
対象学科		建築士学科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方		建築物の最低基準である建築基準法・建築基準法施行令を中心にした、基本的な法規の知識と設計の考え方を講義を通して学ぶ。 1. 建築施工において、法律上の規制、構造基準、申請手続き等の必要性を学ぶ。 2. 条件と規制に則した設備設計の進め方の基本を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解・習得する。				
学習目標 (到達目標)		人々の生命・健康などを守るため建築物の最低基準である建築基準法・建築基準法施行令を中心にした基本知識を習得し建築士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		・図説やさしい建築法規 著者：今村仁美・田中美都 発行所：(株)学芸出版社 ・建築関係法令集 発行：(株)総合資格学院				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	法規に触れよう			身近にある法規を探してみる。 法令集を開いてみる。		
2	①建築基準法の概要 ②法令用語の読み方			達成目標：項目①～②の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①～②の予習		
3	用語の基本定義 ①建築物・建築設備・居室・主要構造部・大規模の修繕 ②模様替え、特殊建築物・指定工作物			達成目標：項目①～②の法に関する条件・規制を理解・説明できる 準備学習：教科書①～②の予習		
4	建築手続き ①確認申請を必要とする建築物、 ②中間検査・完了検査、建築主事と ③特定行政庁・指定確認検査機関 ④建築主、設計者、施工者、建築主事等の役割			達成目標：項目①～④の申請に関わる手続き・検査が理解・説明できる 準備学習：教科書①～④の予習		
5	採光に関する基準 ①室内環境と安全、居室の採光・有効採光面積			達成目標：項目①の居室に採光の必要性が理解・説明できる 準備学習：教科書①の予習		
6	換気に関する基準 ①室内環境と安全、居室の換気、 ②アスベスト規制・シックハウスに関する基準			達成目標：項目①～②の居室に換気の必要性が理解・説明できる 準備学習：教科書①～②の予習		
7	構造に関する基準 ①居室の天井の高さ・床の高さ ②地階の居室の基準、共同住宅等の各戸の界壁に関する基準			達成目標：項目①～②の条件・規制が理解でき計算ができ説明できる 準備学習：教科書①～②の予習		
8						
9						
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
期末試験	小テスト	ノート提出		建築法規は、建築全てにおいて関係しています。「法」を知ることで、他の授業も分かりやすくなると思います。 法令集と仲を深めながら、楽しく学んでいきましょう!!!		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		設計事務所に勤めて4年目。				